



証券コード
7743

2023年3月期第2四半期 連結決算説明会

2022年11月21日



株式会社 シード

1. 2023年3月期 第2四半期 決算概要
2. 2023年3月期 第2四半期 トピックス
3. 中期経営計画進捗
4. 2023年3月期 見通し
5. 参考資料

- 1. 2023年3月期 第2四半期 決算概要**
2. 2023年3月期 第2四半期 トピックス
3. 中期経営計画進捗
4. 2023年3月期 見通し
5. 参考資料

国内

- ・新型コロナウイルス感染症対策と社会経済活動の両立により、社会活動の正常化が進み、確かな回復の兆しを示す
- ・1日使い捨てタイプへのシフトが継続。オルソケラトロジーレンズの普及や、遠近両用、乱視用等の高付加価値商品の伸長等により、コンタクトレンズ市場は成長基調にあると推測。

海外

- ・中国：3月中旬から6月中旬に発生した上海市の都市封鎖の影響で、コンタクトレンズの小売り活動に支障が出る。「ゼロコロナ」政策に伴う移動制限の継続により、コンタクトレンズの消費に対するマイナス影響が懸念される。
- ・欧州：エネルギー価格を中心にインフレ加速。インフレ率も9%を超え、物価上昇により消費が低迷。
- ・その他：「ウイズコロナ」の考えに根差した行動制限の緩和策が取られ、経済・社会活動は国や地域によるばらつきを伴いながらも回復しつつある。

環境変化に適応した対応

- 海外取引先への現地訪問、Face to faceによる情報交換や勉強会の実施
- SNSを通じた広告宣伝を行う等、消費者への直接の需要喚起を実施
- 遠近両用コンタクトレンズやオルソケラトロジーレンズ等の成長性のある高付加価値商品の拡販に注力
- 主要量販店等へのOEM供給を実施

原材料、エネルギー価格の急騰、急激な円安の進行等のため2022年4月～7月にかけて、
使い捨てコンタクトレンズ商品の大部分で、価格改定を実施。

2023年3月期 第2四半期 連結決算ハイライト

連結 [百万円] 百万円未満切捨て	2021/3期 2Q	2022/3期 2Q	2023/3期 2Q	前期比較		2023/3期通期見通し	進捗率
				増減額	増減率		
売上高	13,444	14,024	14,884	+860	+6.1%	31,000	48.0%
「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等適用前とした場合		14,393	15,199	+806	+5.6%		
営業利益	534	752	477	△274	△36.5%	820	58.2%
(営業利益率)	4.0%	5.3%	3.2%	-	△2.1%	2.6%	-
経常利益	490	713	544	△168	△23.6%	700	77.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	194	278	133	△144	△52.1%	320	41.7%

売上高	<ul style="list-style-type: none"> ・国内のコンタクトレンズ需要が順調に回復基調を示し、売上高は148.8億円（前年同期比6.1%増） ・オルソケラトロジーレンズは市場が着実な成長を示し、前年同期比15.1%増と大きく伸長
営業利益	<ul style="list-style-type: none"> ・急速かつ極端な円安による商品輸入原価の上昇や、ウクライナへの軍事侵攻に起因したエネルギー価格および原材料価格の高騰により製造原価が上昇したため、営業利益は前年同期比36.5%減となった。

事業別売上高

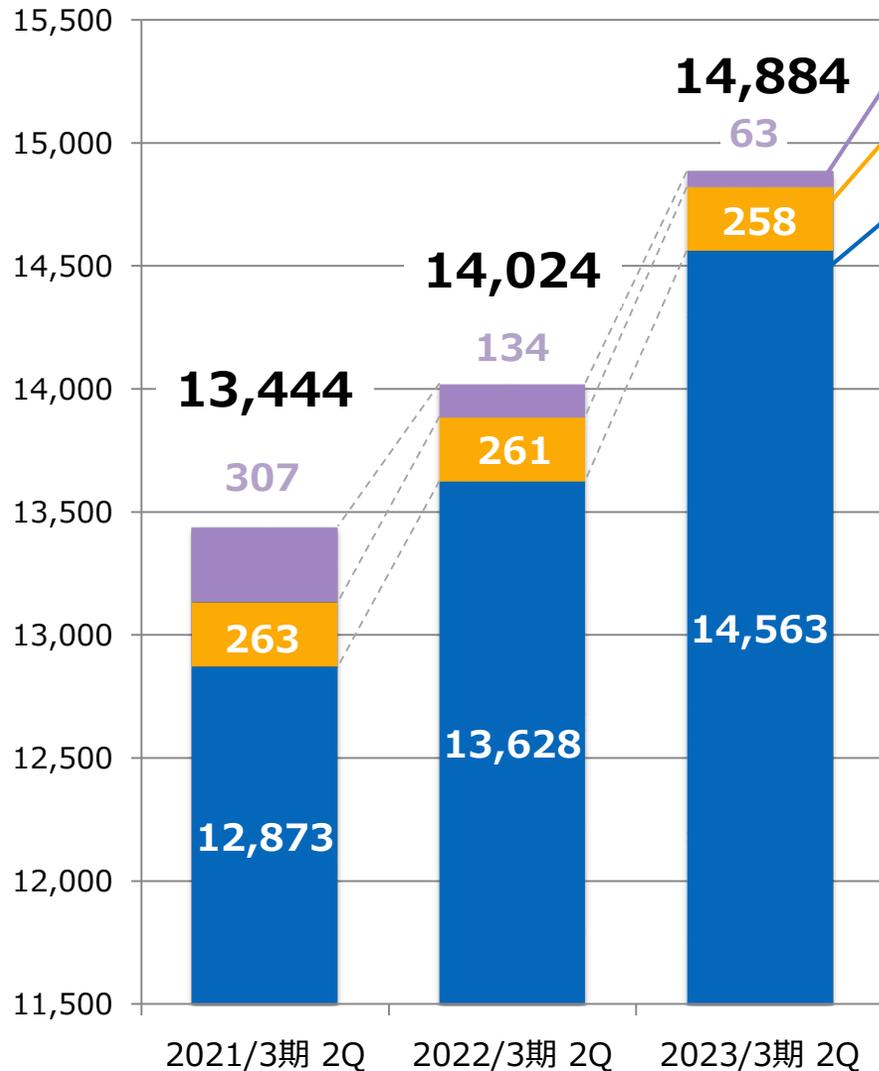
連結

[百万円]

百万円未満切捨て

■コンタクトレンズ ■ケア用品 ■その他

※コンタクトレンズ：光学器械含む
 ※その他：眼内レンズ・眼鏡事業含む



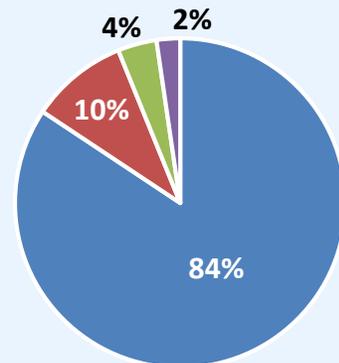
✓ 眼鏡卸売事業から撤退したため前年同期比53.1%減

✓ 使い捨てタイプへのシフト等の影響により前年同期を下回る

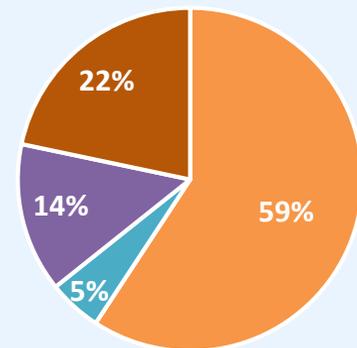
✓ 「ワンデーピュアシリーズ」の需要増等により前年同期比7.0%増

単体

売上高CLカテゴリー比率



売上高1dayカテゴリー比率



カテゴリー別対前期増減比率（単体卸売ベース）

ワンデーピュア	14.7%増	2ウィークピュア	1.7%増
ワンデーファイン	4.4%減	サークル・カラー	2.9%増
オルソケラトロジー	15.1%増	遠近両用	18.2%増

※ワンデーファイン以外はシリーズ合計
 ※遠近両用は使い捨てとコンベンショナル合計（東レ製品は除く）

コンタクトレンズ事業売上高 四半期推移

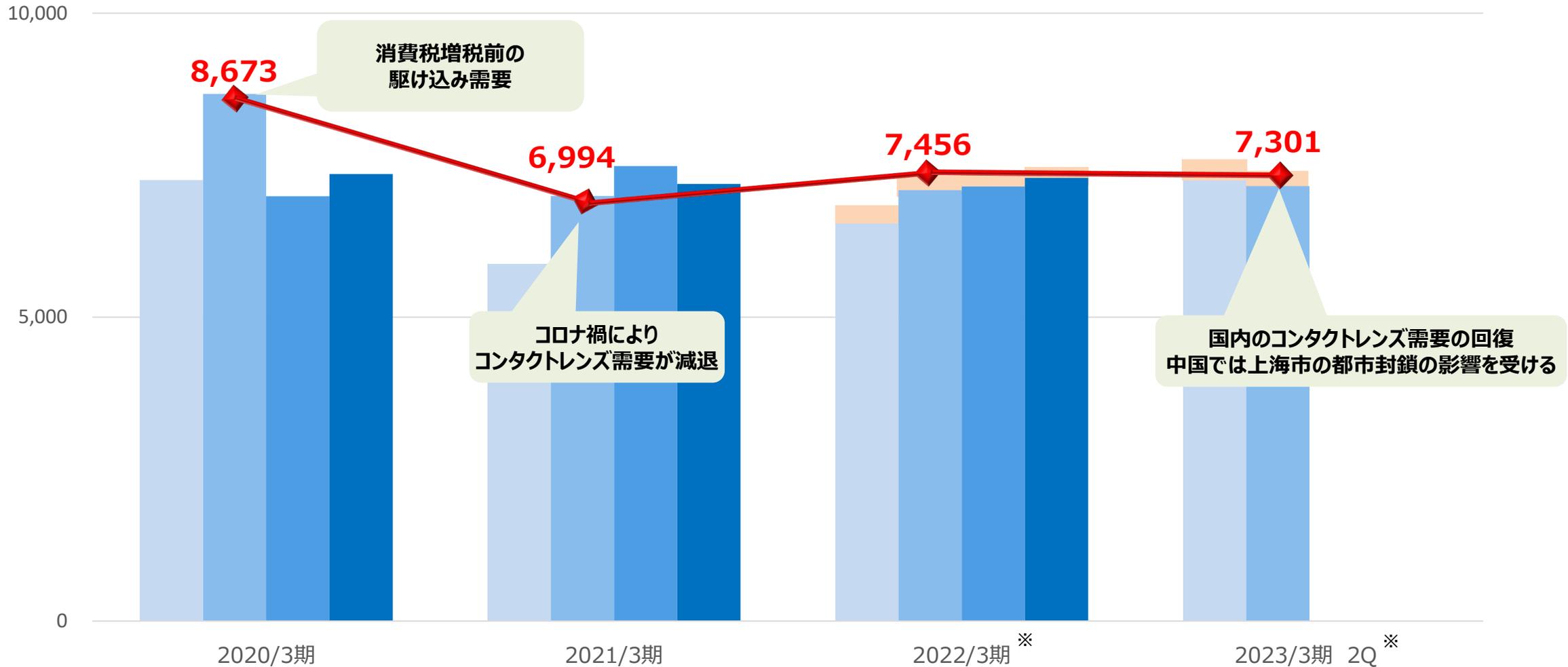
※「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等適用前とした場合

連結 ◇ 卸売りベース

[百万円]

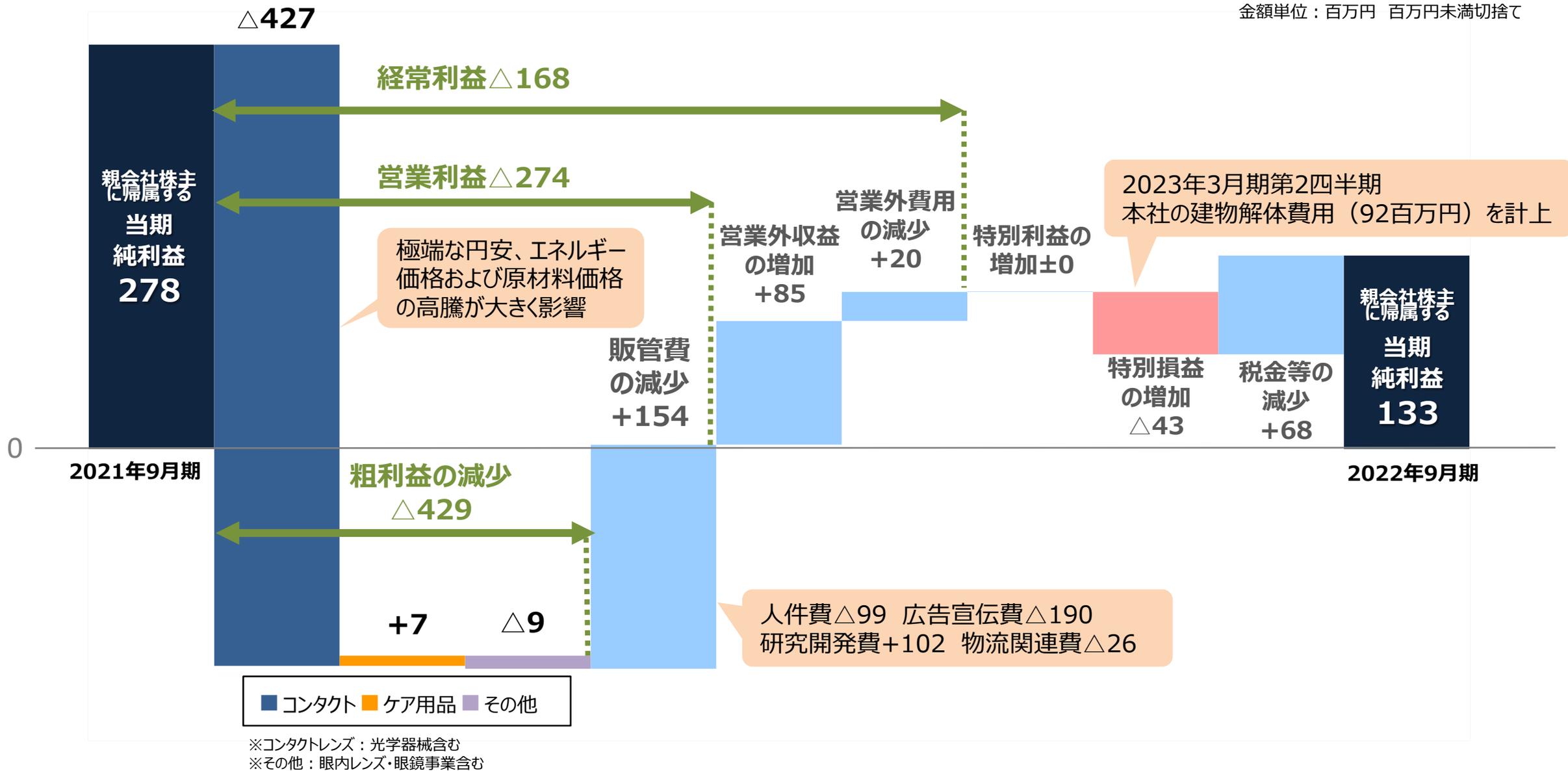
百万円未満切捨て

1 Q 2 Q 3 Q 4 Q ◆ 第2四半期売上高



利益増減分析

金額単位：百万円 百万円未満切捨て



販管費の状況

(連結)

金額単位：百万円 百万円未満切捨て

	人件費	広告 宣伝費	研究 開発費	物流関連費	その他	
2022年3月期上期 販管費実績	1,752	523	797	1,011	1,347	5,432
	△99 (94%)	△190 (64%)	+102 (113%)	△26 (97%)	+59 (104%)	△154 (97%)
2023年3月期上期 販管費実績	1,653	333	899	985	1,406	5,277

- **人件費** : 役員報酬等の減額により、前年同期比で減少
- **広告宣伝費** : 販売促進費の適正化により、前年同期比で減少
- **研究開発費** : 1dayPureEDOFの近視進行抑制に係る治験関係費用
スマートコンタクトレンズの開発費用
- **物流関連費** : 国内売上高の伸長に伴う配送量の増加を輸送コストの見直しで吸収し、
前年同期比で減少
- **その他** : 新商品のトライアルレンズ費用、仮社屋の家賃などにより増加

財務状況推移

連結

[百万円]
百万円未満切捨て

	2022/3月末		2023/3期 2Q		前期比較
	金額	構成比	金額	構成比	
資産の部計	41,785	100.0	41,446	100.0	△339
流動資産	17,328	41.5	18,074	43.6	+746
内 現預金	3,877	9.3	3,925	9.5	+47
商品及び製品	6,006	14.4	6,841	16.5	+835
貸倒引当金	△100	-	△105		-
固定資産	24,457	58.5	23,371	56.4	△1,085
内 有形固定資産	20,395	48.8	19,681	47.5	△713
無形固定資産	1,869	4.5	1,769	4.3	△99
負債の部計	29,253	70.0	28,678	69.2	△575
流動負債	16,406	39.3	17,144	41.4	738
内 短期借入金	11,503	27.5	12,749	30.8	+1,245
短期リース債務	1,075	2.6	944	2.3	△130
固定負債	12,847	30.8	11,533	27.8	△1,313
内 長期借入金	6,736	16.1	5,654	13.6	△1,081
長期リース債務	2,726	6.5	2,419	5.8	△307
純資産の部計	12,532	30.0	12,767	30.8	+235
負債・純資産計	41,785	100.0	41,446	100.0	△339

新商品発売の為の
在庫積み上げ

建物、機械、器具
の償却

借入金の返済

連結

[百万円]
百万円未満切捨て

	2022/3期 2Q	2023/3期 2Q	前期比較
営業活動によるC・F	2,432	1,307	△ 1,124
内 税金等調整前四半期純利益	658	446	△ 212
減価償却費	1,363	1,273	△ 89
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△ 427	△ 848	△ 421
仕入債務の増減額 (△は減少)	445	128	△ 316
投資活動によるC・F	△ 703	△ 638	+65
内 連結の範囲の変更を伴う 子会社株式の取得による支出	△ 410	-	+410
有形固定資産取得	△ 692	△ 650	+42
無形固定資産の取得	△ 8	△ 4	+3
事業譲渡による収入	354	150	△ 204
有形固定資産の解体による支出	-	△ 92	△ 92
財務活動によるC・F	△ 1,125	△ 642	+483
内 短期借入金の純増減額	100	1,212	+1,112
長期借入金の借入	542	4	△ 537
長期借入金の返済	△ 1,001	△ 1,156	△ 154
リース債務の返済による支出	△ 487	△ 499	△ 11
現金及び現金同等物 四半期末残高	4,513	3,925	△ 588

新商品発売の為の
在庫積み上げ

[2022年3月期 1 Q]
(株)ユニバーサルビューの
株式取得

本社の地上解体工事費

[2022年3月期 1 Q]
(株)ユニバーサルビューの
株式取得を目的とした借入

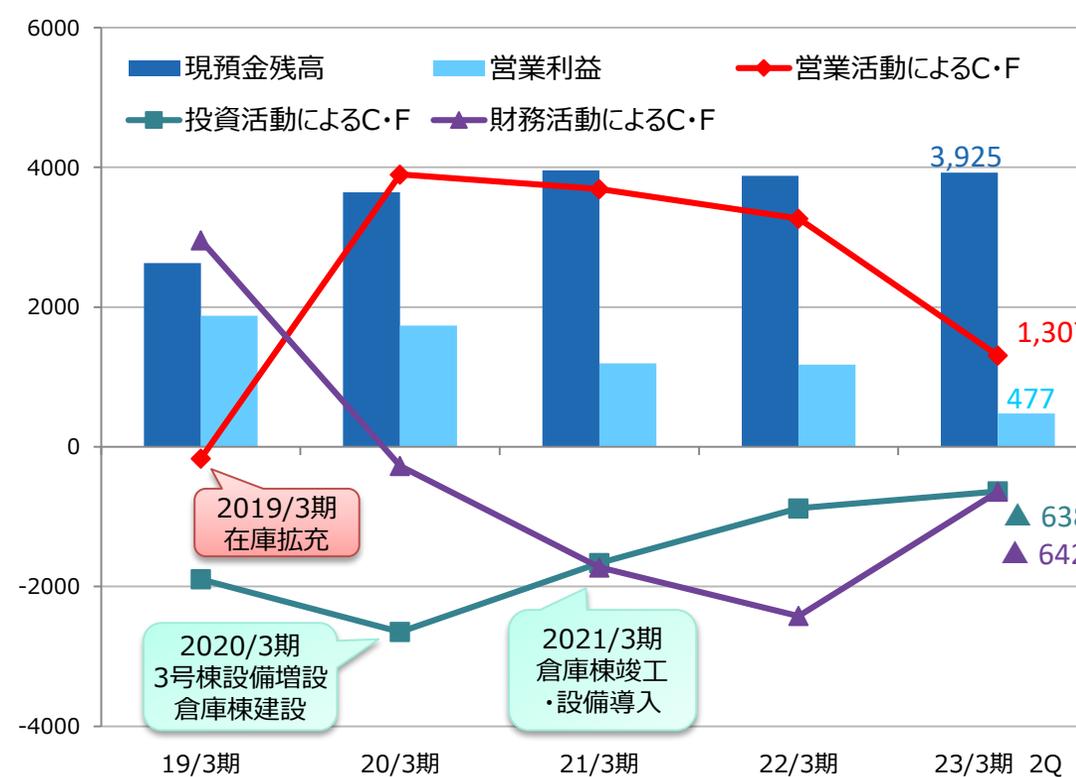
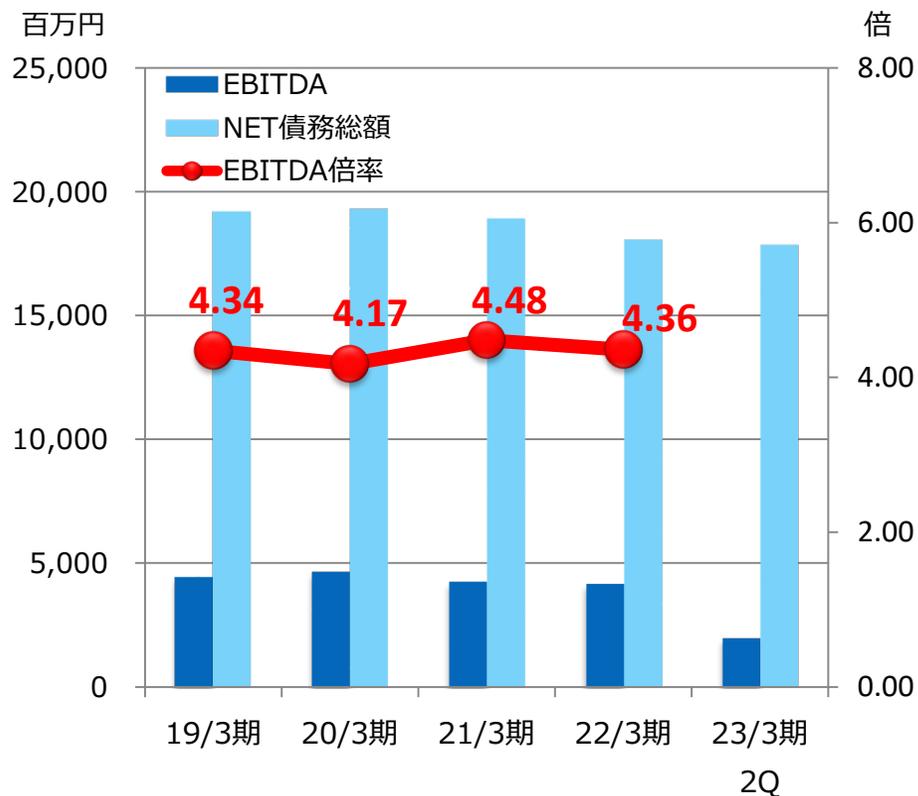
キャッシュ・フロー：関連指標推移

連結

[百万円] 百万円未満切捨て

※2021年3月期以前については、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等適用前の数値

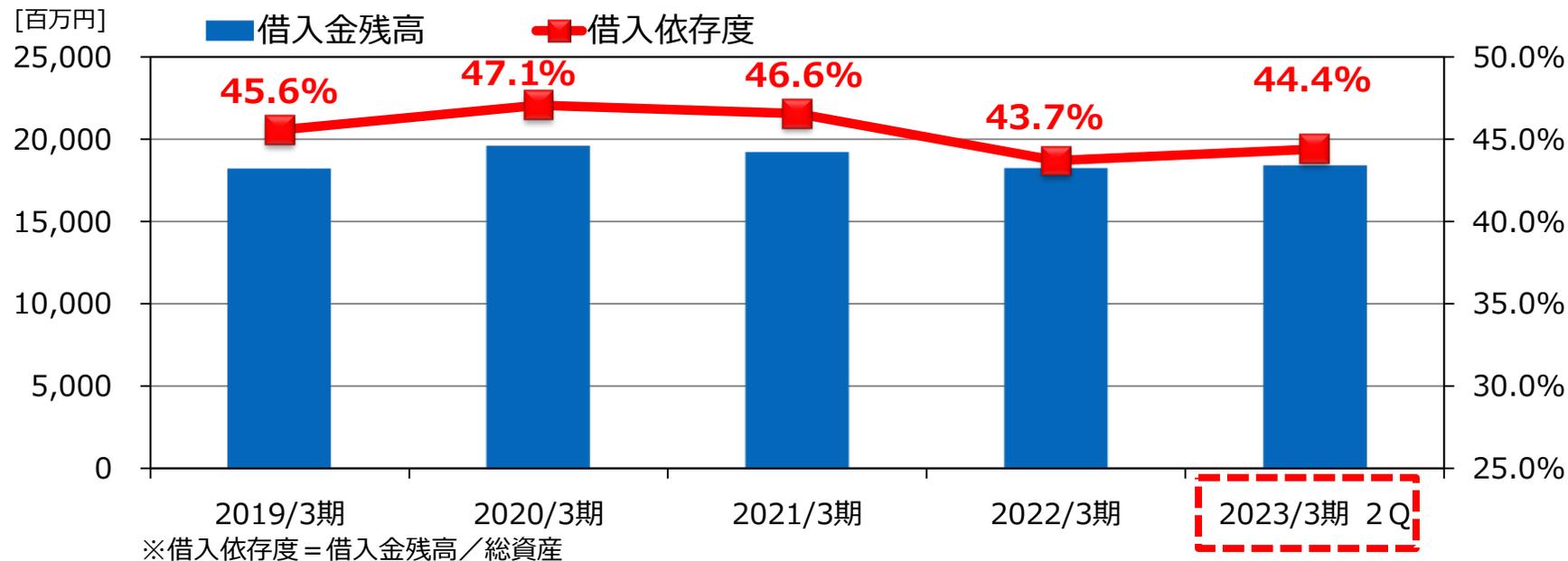
	2019/3期	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2022/3期 2Q	2023/3期 2Q
EBITDA	4,415	4,621	4,218	4,140	2,217	1,962
EBITDAマージン EBITDA÷売上高	15.0%	14.5%	14.7%	14.4%	15.8%	13.2%



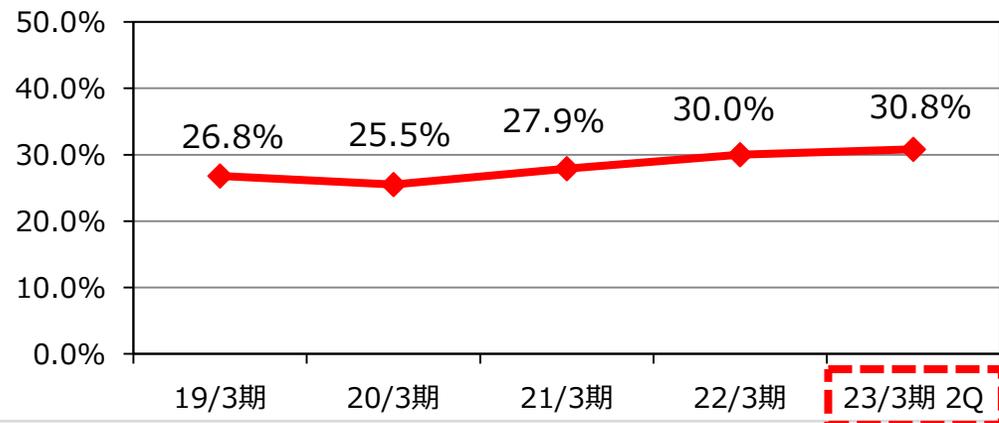
◇EBITDA=経常利益+減価償却費+のれん償却+支払利息 ※NET債務総額=有利子負債+リース債務-現預金

連結

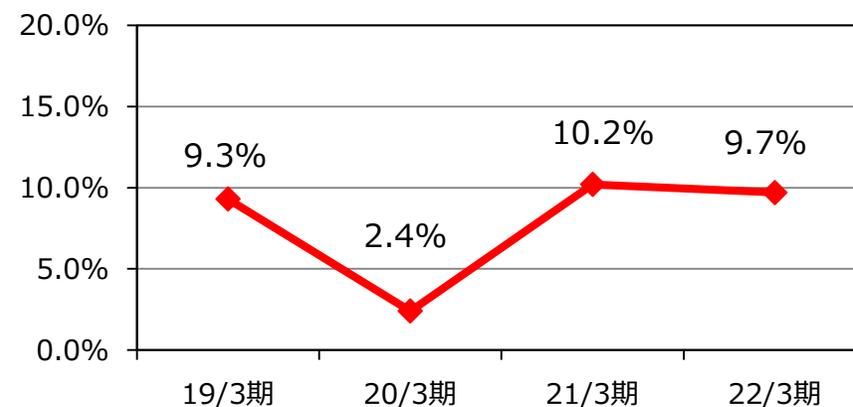
◆借入金の推移



◆自己資本比率



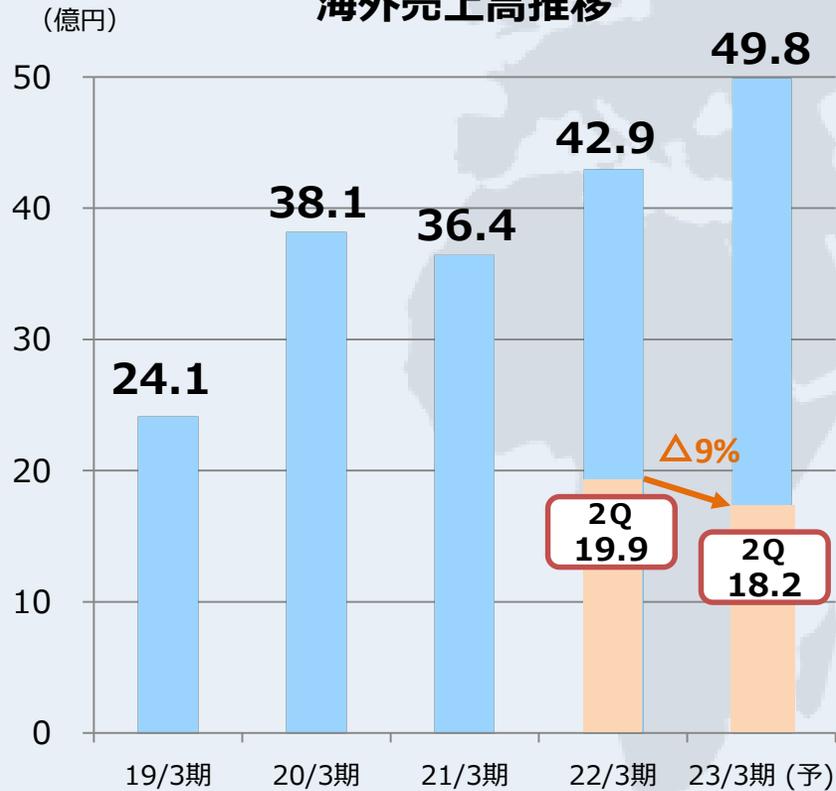
◆自己資本当期純利益率(ROE)



Made in Nippon / Japan Qualityを世界へ

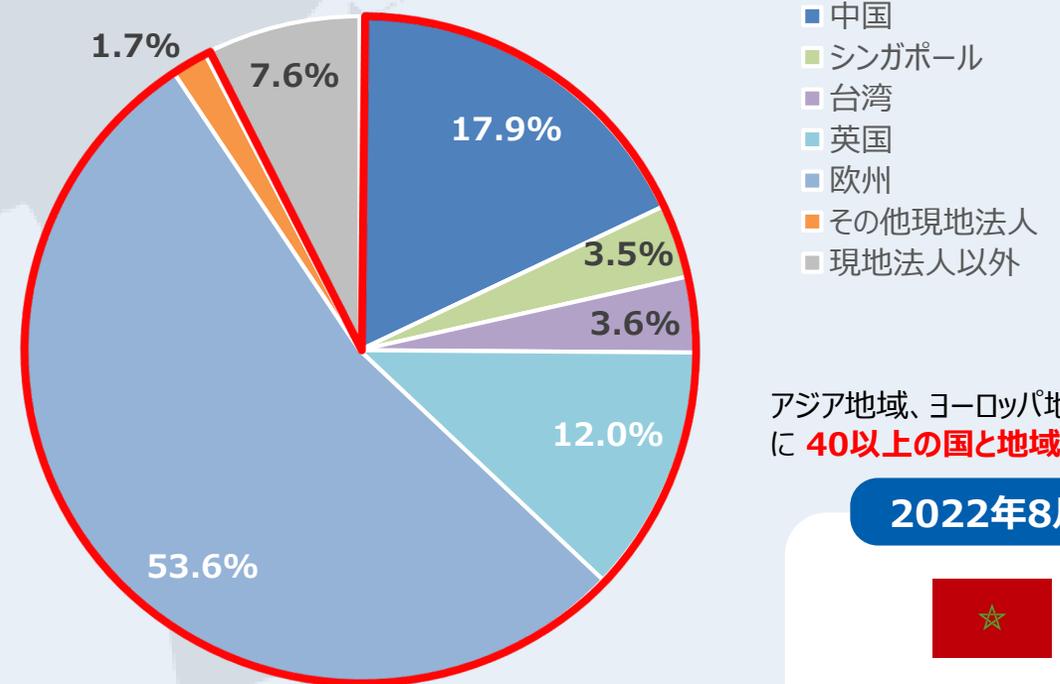
海外事業を牽引している中国市場が「ゼロコロナ」政策の影響により小売市場が停滞し、対前年度マイナスに至った。

海外売上高推移



※現地法人売上 + 当社から現地代理店への卸売合計

海外売上高構成比 (2023/3期 2Q)



アジア地域、ヨーロッパ地域を中心に **40以上の国と地域** に展開中

2022年8月



モロッコ王国 出荷開始

1. 2023年3月期 第2四半期 決算概要
- 2. 2023年3月期 第2四半期 トピックス**
3. 中期経営計画進捗
4. 2023年3月期 見通し
5. 参考資料

2022年7月10日

シード Eye coffret 1day UV M 発売10周年
新イメージキャラクターに福原遥さんを起用

新イメージキャラクターには、ドラマや映画をはじめアニメの声優や歌手など、多方面にわたり活躍、現在は、朝ドラ「舞いあがれ！」のヒロインとしても出演している今注目の女優 福原遥さんを起用。

キャッチコピーは「次の瞳を、一緒に。」10年間ご支援いただいた全ての方への感謝の気持ちと、本ブランドがこれからも頑張る皆さまを応援するブランドであり続けるという決意を表現。

記念ロゴ



アイコフレの持つ上品なイメージはそのままに、10の「0」にくるんとした睫毛を付けることで、目元のオシャレの楽しさを表現。

SEED

次の瞳を、一緒に。
10th Anniversary

ずっと、もっと、アイコフレと。
シード
Eye coffret
1day UV M
アイコフレ ワンデー UV M

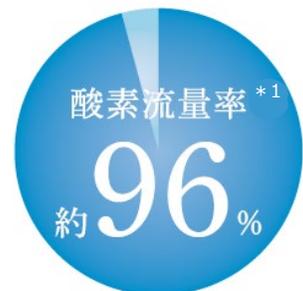
ふんわりニュアンス
くっきりアクセント

1 DAY
うるおい UVカット 度あり/度なし

スマホ眼用
乱視用も

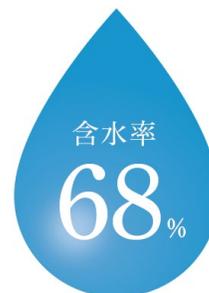
※着用時の見え方には個人差があります。
販売名:シード Eye coffret 1day UV-M 承認番号:23000BZX00077000

シード初の国産シリコンハイドロゲルレンズ
シード1daySilfa (ワンデーシルファ)



酸素流量率×高含水 (柔軟性)

優しく瞳になじむ軽やかなつけ心地



- ・2021年2月から欧州一部地域で販売開始
- ・2022年7月以降九州(沖縄を除く)・四国・中国エリアから販売開始
順次販売地域拡大予定

※1 酸素流量率=コンタクトレンズ装着時に角膜に届く酸素の量/裸眼時に角膜に届く酸素の量
A Model of Oxygen Flux :Brennan(開眼時)に基づく中心部における測定 (-3.00Dの場合)



装用感

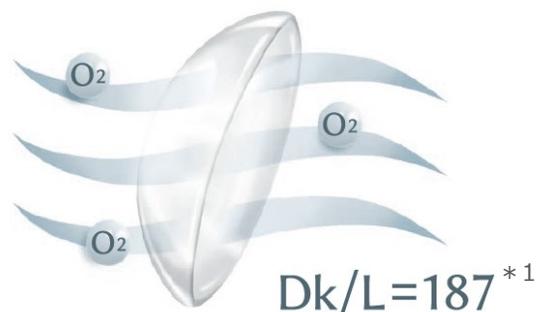


※2 2021年5月～2021年12月に実施した海外アンケート結果 (n=144) より質問項目に対し快適・やや快適と回答した割合



1日使い捨てシリコンハイドロゲルレンズ
シード AirGrade 1day UV W-Moisture
(エアグレード ワンデー UV ダブルモイスチャー)

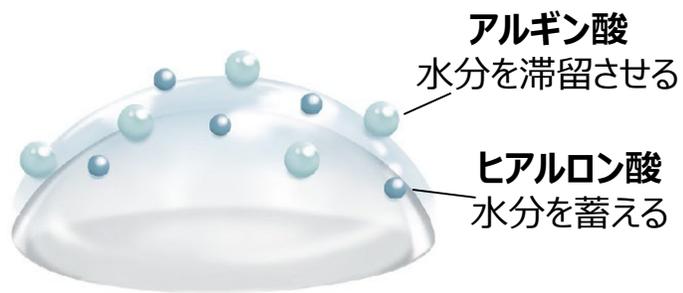
2022年8月23日
全国販売



※イメージ

優れた酸素透過率

※1, $\times 10^{-9}(\text{cm}/\text{sec}) \cdot (\text{mLO}_2/(\text{mL} \times \text{mmHg}))(-3.00\text{D}$ の場合)



※イメージ

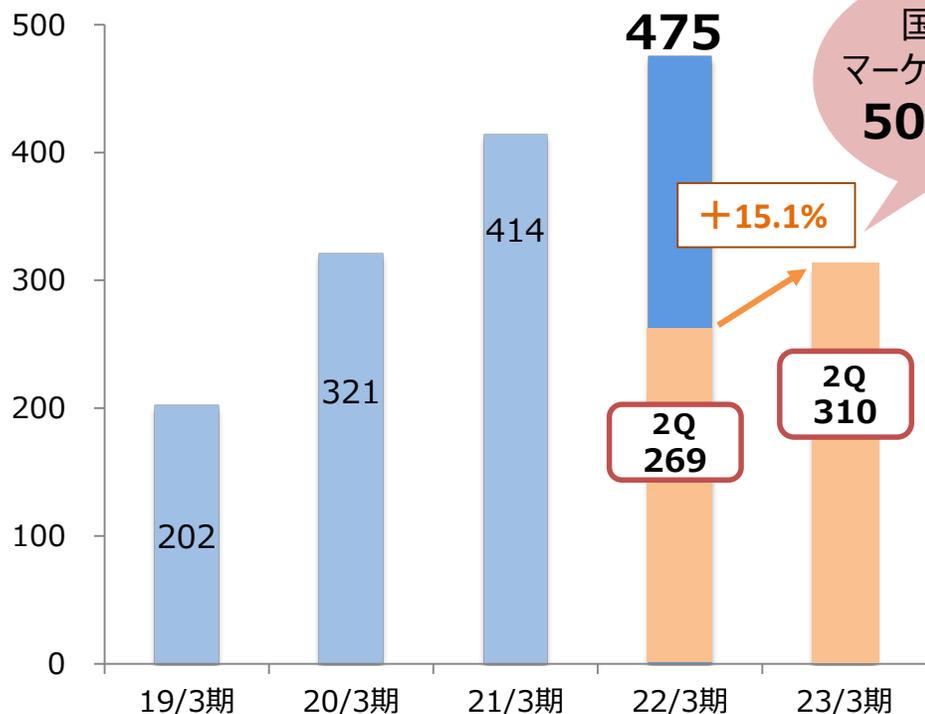
Wの保湿成分配合



寝ている間に視力矯正ができる
オルソケラトロジーレンズ

[百万円]
百万円未満切捨て

オルソケラトロジーレンズ売上



? オルソケラトロジー

寝る時にレンズを装用することで、角膜形状を変化させ、脱着後の裸眼視力を改善させる治療法です。

変化した角膜形状は一定時間維持され、その間の裸眼視力は改善されます。

視力を回復
したい人が

夜にレンズを
つけて寝ると...

日中は裸眼で
よく見える!



レンズ装着前



🌙 夜つけて



☀️ 朝はずす

国内外での販売状況

- 販売中：日本、東南アジア、香港、インド、欧州（Wöhlk社製品を販売）
- 準備中：中国の合併会社の製品を2024年に中国国内での製造販売に向けて承認申請中

2022年10月9日
おかげさまで創立65周年を迎えました

記念ロゴ
スローガン



おかげさまで65周年。未来へ続く種まきを
~See the Vision with SEED~

記念ムービー



当社は社会貢献活動の一環として、未来を担う次世代教育に力をいれてきました。今回の記念ムービーは、東洋大学の学生のみなさまに制作していただきました。

特設サイト



キャンペーン

株式会社シード広報公式Twitterにおいて、シードを支えてくださった皆さまへの感謝の気持ちを込め、記念キャンペーンを実施。



第1弾「シードは種だけじゃない。コンタクトレンズでもある。」キャンペーン

リツイート : 14,851件
引用リツイート : 7,403件
いいね : 3,173件



第2弾「シード愛 (eye) を語ろう」キャンペーン

リツイート : 352件
引用リツイート : 597件
いいね : 333件

65周年を節目に当社はこれからも未来へ種をまき、今後の100周年へと更なる成長を目指して、お客様の「見える」をサポートしてまいります。

統合報告書 -SEED Report 2022-

SEED
「見える」をサポートします

「眼」の専門総合メーカーとして、お客様の「見える」をサポートする

SEED Report 2022

SEED | 製品展開

コンタクトレンズから広がる、多様な「見える」をサポートしています。

たとえば、
多彩な商品
ラインアップを展開

たとえば、
時代のニーズ先駆けた
コンタクトレンズの販売

たとえば、
40以上の国と地域へ
グローバルに対応

品名	販売国/地域	販売年
コンタクトレンズ	日本	1960
コンタクトレンズ	韓国	1965
コンタクトレンズ	中国	1970
コンタクトレンズ	台湾	1975
コンタクトレンズ	香港	1980
コンタクトレンズ	タイ	1985
コンタクトレンズ	インド	1990
コンタクトレンズ	インドネシア	1995
コンタクトレンズ	フィリピン	2000
コンタクトレンズ	マレーシア	2005
コンタクトレンズ	シンガポール	2010
コンタクトレンズ	オーストラリア	2015
コンタクトレンズ	ニュージーランド	2020

SEED | 経営課題

ESG経営の推進とサステナビリティ強化に、全社で取り組んでいます。

SEEDは、お客様が「見える」をサポートするだけでなく、社会の持続可能な発展に貢献することを使命としています。

SEEDは、環境、社会、ガバナンスの3つの分野において、持続可能な成長を実現するための取り組みを行っています。

SEEDは、環境、社会、ガバナンスの3つの分野において、持続可能な成長を実現するための取り組みを行っています。

SEED | 創業以来の歩み

創業以来、高い技術力を活かし、多様なニーズに応える商品を創出し続けてきました。

1960-1996: 創業からコンタクトレンズの普及まで

1997-2012: 多様なニーズへの対応

2013-2022: グローバル展開の加速

2022年度 売上高 288万円
有価証券発行額 5,300万円

SEED | 経営課題

ESG経営の推進とサステナビリティ強化に、全社で取り組んでいます。

SEEDは、環境、社会、ガバナンスの3つの分野において、持続可能な成長を実現するための取り組みを行っています。

SEEDは、環境、社会、ガバナンスの3つの分野において、持続可能な成長を実現するための取り組みを行っています。

当社の価値創造プロセスを始め、成長戦略や、「社員の多様性を尊重し働きやすい環境作り」「環境リスク低減への取り組み」等、ESGの観点からの様々な取り組みについて紹介しています。

サステナビリティ・ESGの取り組み

ブリストーのリサイクル活動

使い捨てのコンタクトレンズのブリストーを回収し、資源としてリサイクルをするプロジェクトです。リサイクル事業者へ販売し得た収益は、海の保全活動をしている団体へ寄付しております。



回収協力施設でお客様にお持ちいただいたブリストーはリサイクル事業者へ販売し、需要が高まっている物流のプラスチックパレットに生まれ変わり続けます（サーキュラエコノミーの実現）。

これまでに**4,330kg**のブリストーを回収し、リサイクル事業者へ提供
眼科・販売店451施設、関連子会社8施設、企業20社、学校4校に回収箱設置
のご協力をいただいております、順次拡大中（2022年11月現在）

シード×横浜市立大学 コンタクトレンズの空ケース回収活動における協定を締結 ～地域と連携した環境保全の強化を目指す～

公立大学法人横浜市立大学と「ブリストー回収活動における連携に関する協定書」を締結。

協定の概要

- 学生ボランティアによるブリストー回収活動
- ブリストー回収活動に係る情報発信
- その他ブリストー回収活動に関連する必要事項



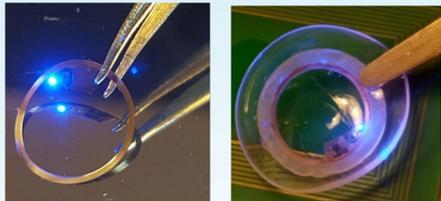
プロジェクトに関心を持つ学生に向けて開催した説明会の様子

ブリストー回収ボックスの設置方法や、回収活動における本プロジェクトの認知度向上、回収量を増やすための仕組み等に関するアイデアを話し合い、立案・実行いたします。

今後の成長に向けた取り組み ～さらなる高付加価値商品の拡販・研究～

Imec×ゲント大学×シードで スマートコンタクトレンズの共同研究

(LEDを搭載した回路を埋入し、発光<駆動>することができる
含水性素材と製造方法をスマートレンズの基礎技術として確立)



トリガーフィッシュ センサー (角膜曲率変動測定計)
トリガーフィッシュ (テレメトリー式生体信号測定装置)



RETISSA® Display II・RETISSA®メディカル
《株式会社QDレーザ》



次世代商品の開発

近視進行抑制：

近視進行抑制分野の用途拡大を目指し、国内でシード1dayPure EDOFの治験を開始。
オルソケラトロジーレンズについては治験準備中。
国内外の大学にて臨床研究を実施中。

- シリコンレンズ：高い酸素透過性レンズの開発
- Personalization：お客様一人ひとりに合わせた製品の開発
- 医療用デバイス：内視鏡用フード等、コンタクトレンズの技術を活かした新たな分野に進出
- スマートコンタクトレンズ：トリガーフィッシュ第2世代の開発
- 医薬品との融合：DDSコンタクトレンズ（薬物徐放コンタクトレンズ）の治験実施中

oDocs nun

(動物用眼底カメラ)

※2022年10月26日発売



わんタクト・にゃんタクト

(動物用バンテージコンタクトレンズ)



METORI-50V

(スマートフォン設置型撮影装置)



シード1dayPure EDOF

(遠近両用コンタクトレンズ)



近視チェック

《横浜近視予防研究所株式会社》



1. 2023年3月期 第2四半期 決算概要
2. 2023年3月期 第2四半期 トピックス
- 3. 中期経営計画進捗**
4. 2023年3月期 見通し
5. 参考資料

2022年6月24日開示 3ヶ年中期経営計画

～「見える」に新たな価値を～

最先端の技術を活用し、高機能・高付加価値の
コンタクトレンズを開発し、市場に新しい価値を提供していく

（中期計画の位置付け）

効率的な生産の実現と更なる品質の向上
非価格競争力のある商品の開発
連結売上高400億円への足場を固める

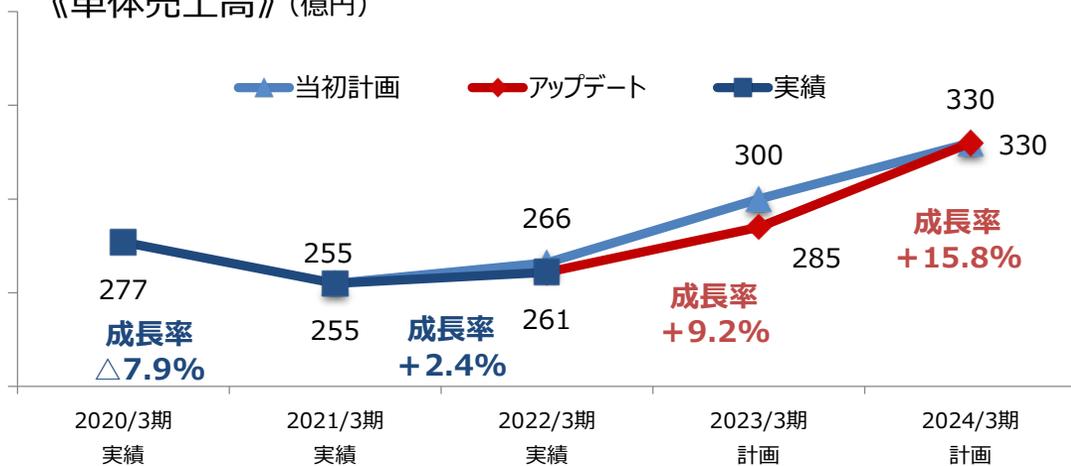
（シードの主要施策）

**“『Made in Nippon』と『Japan Quality』のプライドを通じて
安全で高品質な製品とサービスを提供することを追求”**

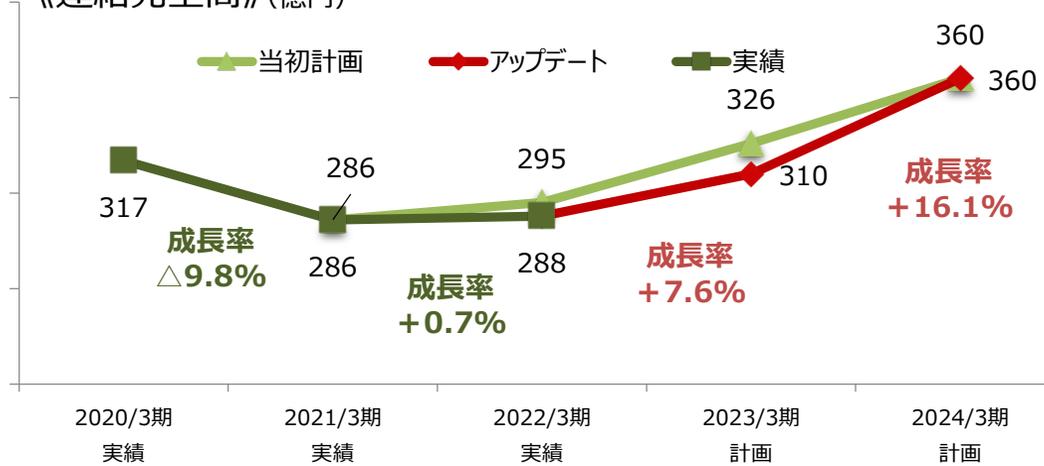
- ✓ 日本国内での安定した成長と同時に、積極果敢な世界展開を実現
- ✓ 積極的に研究開発費用を投下し、計画的かつ確実な研究成果（商品開発）を実現
- ✓ 省人化・自動化などの技術力の向上により、規模の拡大と多品種少量生産を実現
- ✓ 検査用・治療用・医療用等の新たな付加価値をコンタクトレンズで実現
- ✓ ダイバシティとインクルージョンの推進及びカーボンニュートラルへの取り組みを実施

中期経営計画進捗 ～財務目標～

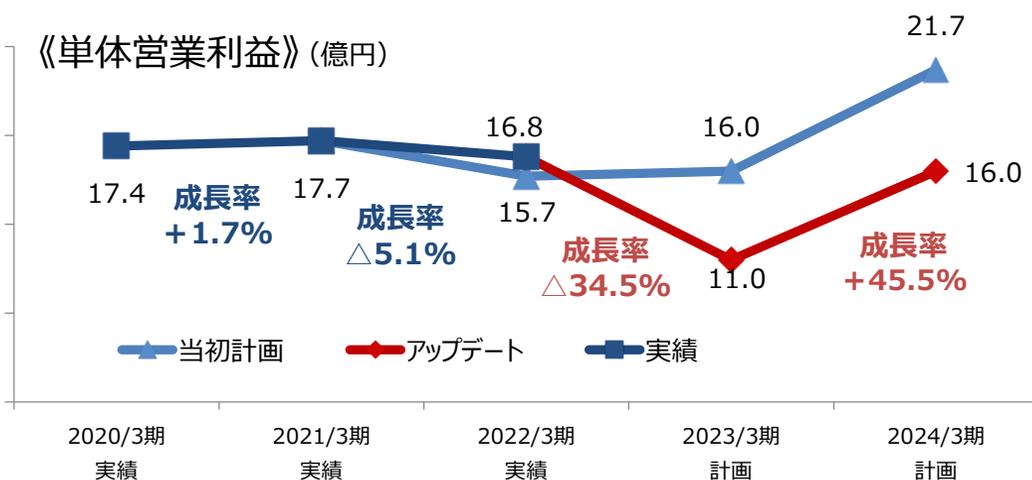
《単体売上高》(億円)



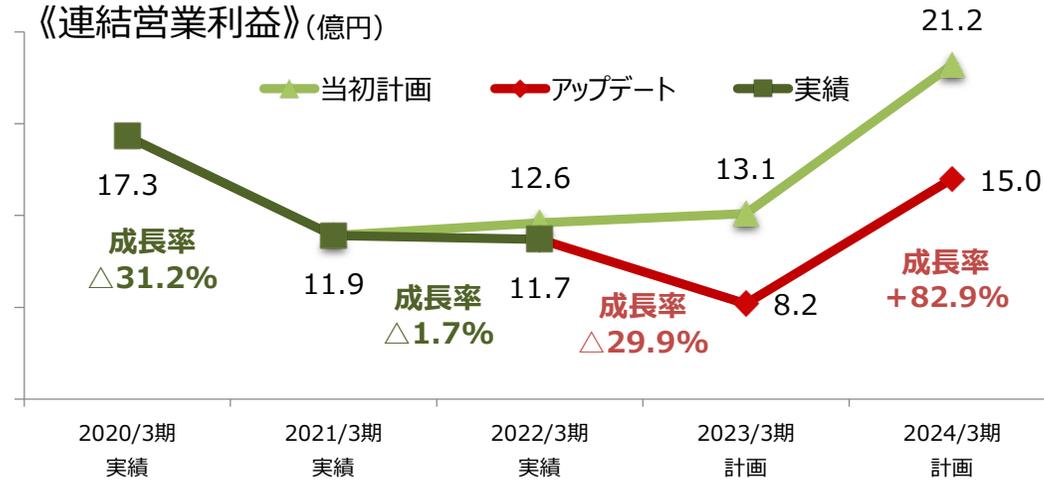
《連結売上高》(億円)



《単体営業利益》(億円)



《連結営業利益》(億円)



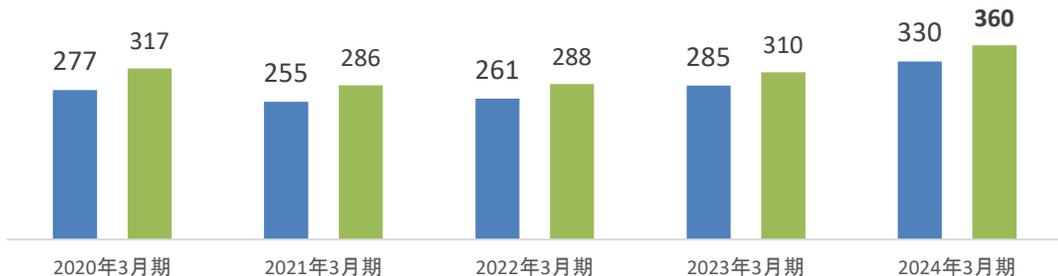
- ✓ 2024年3月期は国内向けシリコンレンズが売上を牽引し、連結売上高 360億円達成を見込む
- ✓ 電力をはじめとしたエネルギー価格の高騰と、急激な円安により、2024年3月期の営業利益目標の見直しを実施

中期経営計画進捗 ～財務目標～

(億円)

売上高

■ 単体 ■ 連結



✓ 連結売上高 360億円とし、400億円への足場を固める

(億円)

営業利益

■ 単体 ■ 連結

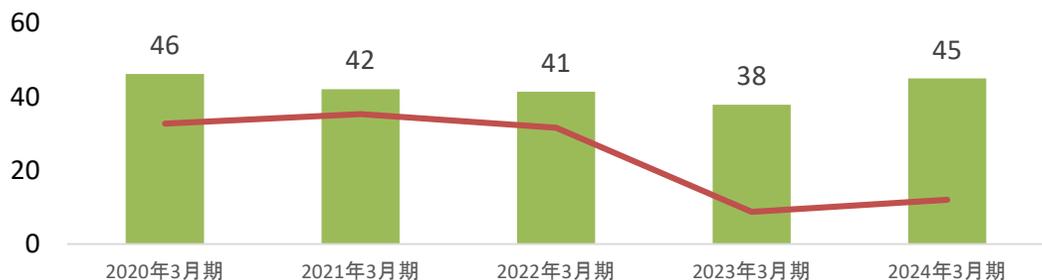


✓ 利益構造の改善を継続し、営業利益ベースでの増益を継続する

EBITDA

(億円)

■ EBITDA ■ EBITDAマージン



✓ キャッシュ創出力を強化し、EBITDA 50億円を目指す

ROE

(%)

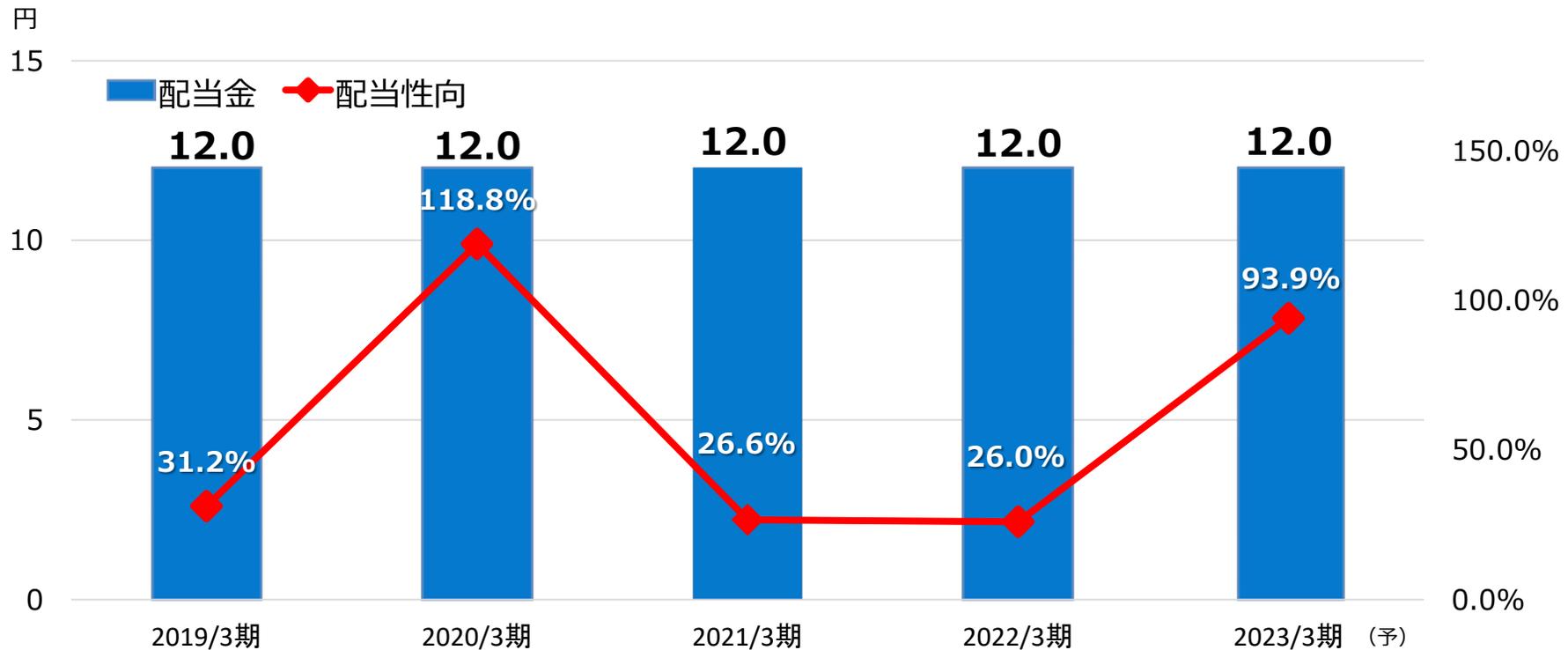
(億円)

■ 親会社に帰属する当期純利益 ■ ROE



✓ 利益効率を高め、ROE 10%を目指す

株主の皆様へ安定的かつ適切な配当継続を実施



※当社は、2018年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。

株主への利益還元を継続していく基本方針と、
中長期的には事業規模の拡大は収益拡大に繋がることを総合的に勘案

1株あたり年間配当金額
1株につき **12円**

1. 2023年3月期 第2四半期 決算概要
2. 2023年3月期 第2四半期 トピックス
3. 中期経営計画進捗
- 4. 2023年3月期 見通し**
5. 参考資料

2023年3月期 見通し

連結

[百万円] 百万円未満切捨て

	2022年3月期	2023年3月期見通し	＜参考＞前期比較※	
			増減額	増減率
売上高	28,835	31,000	+2,165	+7.5%
営業利益	1,177	820	△357	△30.3%
(営業利益率)	4.1%	2.6%		△1.5%
経常利益	1,138	700	△438	△38.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,153	320	△833	△72.3%

- 売上高 : 市場競争力を高めるために、異なる特性を持つ2種類のシリコンレンズを発売、売上を増大中
サークル・カラーコンタクトレンズの需要創造／オルソケラトロジーレンズのシェア拡大
- 営業利益 : 外部環境悪化によるコスト増を吸収するため、販管費の適正化および2022年4月～7月にかけて卸販売価格の引き上げを実施
破棄・工程内のムダ削減による粗利率の向上。競争力維持のための投資は実施
主要量販店等へのOEM商品の提供、生産ラインの稼働率を担保

1. 2023年3月期 第2四半期 決算概要
2. 2023年3月期 第2四半期 トピックス
3. 中期経営計画進捗
4. 2023年3月期 見通し
5. **参考資料**

参考資料：会社概要

- 本社：東京都千代田区神田錦町 2-11 三洋安田ビル
- 設立：1957年10月9日(昭和32年)
- 上場：1989年12月(平成元年12月) 東京証券取引所プライム市場 証券コード：7743
- 資本金：1,841百万円 ■ 従業員：994名(連結) ※2022年9月末現在
- 営業所：8 (札幌・東京・名古屋・大阪・福岡 他)、その他駐在12 (盛岡・静岡 他) ※2022年3月末現在
- 工場・研究所：シード鴻巣研究所(埼玉県鴻巣市)



- 沿革 1957年10月 会社設立 商号「(株)東京コンタクトレンズ研究所」
- 1985年11月 ブランド名をマイコンから「シード(SEED)」に変更
- 1987年2月 商号変更「(株)シード」
- 2007年7月 鴻巣研究所を竣工
- 2011年1月 鴻巣研究所 ISO13485取得、CEマーキング指令適合
- 2014年3月 東京証券取引所市場第二部に市場変更
- 2014年8月 鴻巣研究所2号棟竣工
- 2016年6月 研究棟竣工
- 2017年3月 東京証券取引所市場第一部に指定
- 2017年9月 鴻巣研究所3号棟竣工
- 2017年10月 おかげさまで創立60周年
- 2018年4月 保育・児童施設 ふくろうの森 開園
- 2020年11月 鴻巣研究所 製品・資材倉庫棟 新設
- 2022年4月 東京証券取引所プライム市場へ移行
- 2022年10月 おかげさまで創立65周年



鴻巣研究所



「東京コンタクトレンズ研究所」
当時の社屋



保育・児童施設 ふくろうの森

コンタクトレンズ事業 1day・2weekからハードコンタクトレンズまで、幅広い商品展開で細分化するニーズにきめ細かく対応しています。

■ 純国産Pureシリーズ



シード1dayPure
うるおいプラス



シード1dayPure
View Support

遠近両用



シード1dayPure
EDOF



シード2weekPure
うるおいプラス

NEW

シリコンハイドロゲル



シード1daySilfa



乱視用



シード1dayPure
うるおいプラス乱視用

乱視用



シード2weekPure
うるおいプラス乱視用

遠近両用



シード1dayPure
マルチステージ

遠近両用



シード2weekPure
マルチステージ

■ 特殊レンズ



シード 虹彩付ソフト
シード Bi-Expert
ユーソフト

■ 従来型コンタクトレンズ



ハードコンタクトレンズ
全6種7品



ソフトコンタクトレンズ
全3種

■ オルソケラトロジーレンズ

ブレスオーコレクト

Made in Nippon



■ サークルレンズ



シード Eye coffret 1day UV M



シード Eye coffret 1day UV M View Support

乱視用



シード Eye coffret 1day UV M TORIC



ヒロインメイク 1day UV M

■ カラーレンズ



ベルミー

主な海外商品（中国）



■ 1日使い捨てコンタクトレンズ

■ Fineシリーズ

NEW シリコンハイドロゲル



シード AirGrade 1day UV W-Moisture



シード 1day Fine UV plus



シード 2week Fine UV plus



シード 2week Fine UV plus TORIC



シード Monthly Fine UV plus

コンタクトレンズケア用品事業

コンタクトレンズを快適にお使いいただくためのケア用品を各種提供しています。



コレクトクリーン
オルソケラトロジーレンズ（プレスオーコレクト）
他・酸素透過性ハードコンタクトレンズ用 タンパク洗浄液



NEW

フォレストリーフ うるおいW
ソフトコンタクトレンズ用
洗浄・保存・すすぎ液



ピュアティモイスト
酸素透過性ハードコンタクトレンズ用
酵素洗浄保存液



ジェルクリンW
酸素透過性ハード・
ソフトコンタクトレンズ用洗浄液

1.7%

23/3期 2Q
連結売上高構成比

金融安定理事会（FSB）により設置された「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」の提言に基づき、気候変動に関連するガバナンス、事業への影響と対策、リスク管理について検討と対応を行っております。

環境



- 太陽光発電システムの設置
- 水資源の有効活用
- 廃棄物の削減
- コンタクトレンズのプリスター（空ケース）の回収・再資源化



太陽光パネル設置容量：270.00kw
想定発電量：308,987kwh/年
想定CO2削減量：158.2t-CO2/年

社会

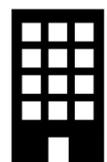


- 企業主導型保育園の開設「ふくろうの森」
- 社会・地域との連携、次世代教育
- 働きやすい職場づくり
- 海外支援
- 労働安全衛生、品質管理体制



アイメイトの歩行体験

ガバナンス



- コーポレート・ガバナンス
社外役員をサポート体制、各分野を専門とする人材を選定、
海外グループマネジメント、内部統制、
リスク・セキュリティ管理委員会等の設置

SNS



シード公式チャンネル

- ・TVCM
- ・製品説明動画
- ・決算説明会、株主総会、IRイベント
- ・IR動画
- ・CSR活動（理科実験教室）



株式会社シード広報公式

- ・CSR活動の報告
- ・イベントの告知
- ・会社や社員の様子



アイコフレ ワンデー UV M 【公式】 ベルミー 【公式】

- ・モデルによる商品レビュー
- ・メイク方法
- ・コンタクトレンズに関するQ&A



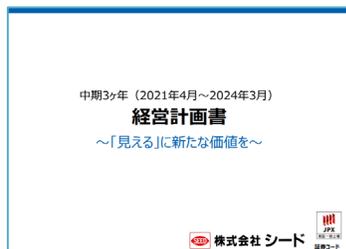
株式会社シード広報公式

- ・会社の裏側
 - ・コンタクトレンズライブを豊かにする情報等
- ### ベルミー 【公式】
- ・山之内すずさんによるベルミーダンス
 - ・カラコンレポート等

当社HP



決算説明会・株主総会資料



中期経営計画説明会資料



IRレポート



統合報告書

その他

企業と個人株主・投資家をつなぐ



2022年6月20日（月）より、
個人株主・投資家向けサービス「Sharebee」にて
IRに関する情報・重要連絡をHPのIRサイトの掲
載に加えて配信しております。

<https://sharebee.jp/>



国内子会社

*株式会社シードアイサービス

横浜近視予防研究所株式会社

海外子会社

*上海実瞳光学科技有限公司 (中華人民共和国)

上海実瞳商務咨询有限公司 (中華人民共和国)

*上海実瞳健康科技有限公司 (中華人民共和国)

*台湾實瞳股份有限公司 (台湾)

*SEED CONTACTLENS ASIA PTE.LTD.
(シンガポール共和国)

SEED CONTACT LENS (M)SDN.BHD
(マレーシア)

SEED CONTACT LENS VIET NAM CO, LTD.
(ベトナム)

SEED CONTACT LENS (ANZ) PTY LTD.
(オーストラリア)

*SEED Contact Lens Europe GmbH
(ドイツ)

*Wöhlk Contactlinsen GmbH
(ドイツ)

*Wöhlk-Contact-Linsen Vertriebs GmbH
(オーストリア)

*Sensimed SA
(スイス)

*Contact Lens Precision Laboratories Ltd.
(イギリス)

*Ultravision international Ltd.
(イギリス)

※2022年11月現在

* : 連結子会社

SEED

「見える」をサポートします

本資料に関するお問い合わせ

株式会社シード 経営企画部

TEL 03-3813-1650

またはホームページお問い合わせフォーム

<https://www.seed.co.jp/contact/>

当資料の見込みに関しては、現時点において入手可能な情報及び当社の計画・戦略に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の経済情勢・業界動向等、様々な要因により異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

本資料の見通しや目標数値等に全面的に依存しての投資判断により生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。